

# 事務所機能に「快適トイレ」プラス

## エヌディーリース・システム

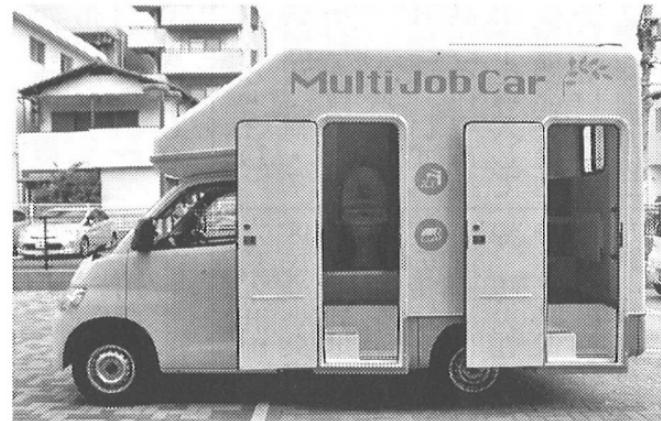
日本道路グループのエヌディーリース・システム（東京都文京区、兼子知之社長）がジョブカーシリーズの第3弾「マルチJobCar」を開発した。車内で事務作業や打ち合わせが可能で、現場事務所を持たない小規模現場などに有効。併設したトイレは国土交通省が定めた「快適トイレ」仕様に合わせている。

「現場職員の環境改善と作業効率の向上」が開発コンセプト。仮眠スペースを設けることで熱中症対策にも利用できる。トイレは水洗で手洗い場や収納棚なども完備。建設業界でも活躍が目立ってきた女性の使用にも配慮した。

ベース車両はトヨタ自動車のトラック「タウンエース」。標準装備の機能は▶快適トイレ▶収納型打ち合わせテーブル▶ベッド兼いす▶本棚▶冷蔵庫▶エアコン▶コンセント▶外部A C電源入力コンセント▶バックモニター付きフロントミラー。総重量は1980kgとなる。

エヌディーリース・システムは来春のリース開始を

## ジョブカーシリーズ第3弾開発



予定しており、デモ車を使ったPR活動を九州支社（福岡市博多区）から開始した。年間20台のリースを目指す。高速道路のように施工延長が長い現場にも売り込みたい考えだ。

兼子社長は「現場の声を反映して開発した。労働環境の改善に役立てたい」とする。災害時のBCP（事業継続計画）対策でも活用を促していく。ジョブカーシリーズとして同社はこれまで「デスクカー」「トイレカー」を開発している。

マルチJobCarのモデル車両